

解 答

- 一 問一 a 意気投合 b 向学 c 確信 d 到底 e 素地
問二 A エ B ア C イ
問三 ウ
問四 エ
問五 うまい人がやるのをよく見て何度もまねて練習し、技を盗むこと。
問六 「技を盗む」という意識を強く持ち、積極的に場に臨むこと。
問七 全体的には劣るが、その中の一つの技術は優れている後輩
問八 ア
問九 うまい人のやることをよく見て仕事のコツや工夫を認識し、その技をまねて盗むという上達の普遍的な論理を、経験を通じて技化していること。
- 二 問一 荷
問二 B エ C イ
問三 オ
問四 ウ
問五 ほたるの季節には早いので、一子の嘘を信じてみたいという素子の希望に添えないから。
問六 とっさについた嘘の言い訳が見つかり、救われてほっとしたから
問七 素子に見せたいという願いがかなって見たほたるの光は、素子を救う輝きに思えたから。
問八 ほたるの美しい光に小さな命の輝きを感じ、自分も生きることに向きな気持ちになり、一子に感謝の気持ちを伝えたかった。